

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	AP
診療科名	産婦人科
診療科責任者名	大塚 伊佐夫
適応がん種	子宮内膜がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ut-4
登録日・更新日	2008年7月16日
削除日	
出典	JCO 2006;24:36
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	シスプラチン	10mg, 50mg	50mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間	Day1
	生理食塩液	500mL				
No.2	アドリアシン	10mg	60mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分	Day1
	生理食塩液	100mL				

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	シスプラチン BUN \geq 25mg/dL クレアチニン \geq 1.5mg/dLのとき投与不可
前投薬	グラニセトロン3mg デキサメタゾン
その他の注意事項	術後補助化学療法として6~8コース実施 アントラサイクリン系薬剤未治療例で、ADMの総投与量が500mg/m ² を超えると重篤な心筋障害を起すことが多くなるので注意すること シスプラチン投与前後にそれぞれ1,000~2,000mLの適当な輸液を4時間以上かけて投与する

記入者	安室 修
確認者	大塚 伊佐夫